

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (1/9)

認定番号: 0163-1208, サービス名称: BizMobile, 事業者名称: IoT-EX株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】		必須/選択	申請内容
1	開示情報の時点	開示情報の日付	開示情報の年月日(西暦)	必須	2022/7/6
- 事業所・事業					
2	事業所等の概要	事業者名	事業者の正式名称(商号)	必須	IoT-EX株式会社
3		設立年・事業年数	事業者の設立年(西暦)	必須	2009年
			設立後の事業年数(1年に満たない場合は月数)		13年
4		事業所	事業者の本店住所・郵便番号	必須	東京都千代田区神田富山町5-1 神田ビジネスキューブ3F 〒101-0043
	事業所数(国内、国外)		1(国内1)		
	主な事業所の所在地		東京(1ヶ所)		
5	事業の概要	主な事業の概要	事業者の主要な事業の概要(ASP・SaaS以外も含む) <100字以内で記述>	必須	1.携帯向けのアプリケーションの企画、調査、設計、開発及び運営 2.携帯向けのサービスの企画、調査、設計、開発及び運営 3.携帯を利用したセキュリティサービスの企画、調査、設計、開発及び運営
- 人材					
6	経営者	代表者	代表者氏名	必須	代表取締役 小畑 至弘
			代表者写真		
			代表者年齢		61才
			代表者経歴(学歴、業務履歴、資格等)		1986年 国際電信電話株式会社(現KDDI株式会社)入社 1999年 イー・アクセス株式会社(現ソフトバンク株式会社)取締役CTO 2004年 同社専務執行役員兼CTO 2008年 イー・モバイル株式会社(現ソフトバンク株式会社)専務執行役員 2009年 一般社団法人日本インターネットプロバイダー協会(JAIPA)理事 2010年 イー・アクセス株式会社(現ソフトバンク株式会社)執行役員 技術本部 2012年 同社執行役員 経営企画本部 シニア・リサーチ・フェロー 2013年 エクイニクス・ジャパン株式会社 ソリューションアーキテクト 2014年 当社代表取締役就任 2015年 当社代表取締役CEO 2019年 IoT-EX株式会社 代表取締役社長CEO(現任)
7	役員	役員数	選択	4名	
		役員氏名及び役職名		・代表取締役 小畑至弘 ・代表取締役 松村淳 ・取締役 佐藤桂 ・監査役 木呂子義之	
8	従業員	従業員数	正社員数(単独ベース)	選択	29名
- 財務状況					
9	財務データ	売上高	事業者全体の売上高(単独ベース)(単位:円)	必須	2022年3月期: 622,067,000円
10		経常利益	事業者全体の経常利益額(単独ベース)(単位:円)	選択	2022年3月期: 68,627,000円
11		資本金	事業者全体の資本金(単独ベース)(単位:円)	必須	2022年3月期: 66,000,000円
12		自己資本比率	事業者全体の自己資本の比率(単独ベース)(単位:%)	選択	2022年3月期: 74%

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人日本クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (2/9)

認定番号: 0163-1208, サービス名称: BizMobile, 事業者名称: IoT-EX株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】		必須/選択	申請内容
13	財務信頼性	キャッシュフロー対有利子負債比率	事業者全体のキャッシュフロー対有利子負債比率(単独ベース)(単位:%)	選択	
14		インタレスト・カバレッジ・レシオ	事業者全体のインタレスト・カバレッジ・レシオ(単独ベース)(単位:%)	選択	
15		上場の有無	株式上場の有無と、上場の場合は市場名	選択	未上場
16		財務監査・財務データの状況	該当する財務監査・財務データの状況を、以下より選択する。 ①会計監査人による会計監査、②会計参与による監査、③中小企業会計によるチェックリストに基づく財務データ、④いずれでもない	選択	④監査役による監査
17		決算公告	決算公告の実施の有無	選択	
- 資本関係・取引関係					
18	資本関係	株主構成	大株主の名称(上位5株主程度)、及び各々の株式保有比率	選択	1.グローバルネットワーキング合同会社(68.9%) 2.松村 淳(20.3%) 3.OA通信サービス株式会社(2.8%)
19	取引関係	大口取引先	大口取引先の名称	選択	ANAシステムズ株式会社、株式会社インターネットイニシアティブ、インディビジュアルシステムズ株式会社、株式会社NTTドコモ、NTT-PC株式会社、オリックス・レンテック株式会社、KDDI株式会社、関電システムソリューションズ株式会社、セキュアスマート株式会社、ソフトバンク株式会社、株式会社ホンダ技術研究所、三菱電機インフォメーションネットワーク株式会社、株式会社ソリトンシステムズ
20		主要取引金融機関	主要取引金融機関の名称	選択	株式会社商工組合中央金庫
21		所属団体	所属している業界団体、経済団体等の名称	選択	一般社団法人日本インターネットプロバイダー協会(JAIPA) 一般財団法人インターネット協会(IJapan) モバイルコンピューティング推進コンソーシアム(MCPC) 一般社団法人iOSコンソーシアム(iOSC) 一般社団法人日本スマートフォンセキュリティ協会(JSSEC) IoT推進コンソーシアム(IoT Acceleration Consortium)
- コンプライアンス					
22	組織体制	コンプライアンス担当役員	コンプライアンス担当の役員氏名	選択	松村 淳
23		専担の部署・会議体	コンプライアンスを担当する社内の部署・会議体の有無と、存在する場合は社内の部署名・会議名	選択	管理部
24	文書類	情報セキュリティに関する規程等の整備	情報セキュリティに関する基本方針・規程・マニュアル等文書類の名称	必須○	機密文書管理規定
			上記の文書類の経営陣による承認の有無		有り
25	文書類	勧誘・販売に関する規程等の整備	勧誘・販売に関する基本方針・規程・マニュアル等の有無と、文書類がある場合はそれらの文書名	選択	無し
			上記の文書類の経営陣による承認の有無		無し
26	文書類	ASP・SaaSの苦情対応に関する規程等の整備	ASP・SaaSの苦情処理に関する基本方針・規程・マニュアル等の有無と、文書類がある場合はそれらの文書名	必須	有り:SLA
			上記の文書類の経営陣による承認の有無		有り

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人日本クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (3/9)

認定番号: 0163-1208, サービス名称: BizMobile, 事業者名称: IoT-EX株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
- サービス基本特性				
27	サービス名称	申請したASP・SaaSのサービス名称	必須	BizMobile
28	サービス開始時期	申請したASP・SaaSのサービス開始年月日(西暦)	必須	2011/3/29
		サービス開始から申請時までの間の大きなリニューアル等実施の有無と、行われた場合はリニューアル年月日(西暦)		<p>2011年9月5日 Android 2.2対応</p> <p>2011年11月1日 iOS 5対応、iDEP改定対応</p> <p>2013年9月20日 iOS 7のすべての機能に対応し、完全な公私分離を実現する次世代MDMを開発</p> <p>2013年11月27日 世界初、ドキュメント共有システムからMDM機能を利用</p> <p>2014年12月1日 「キッティングの効率化」「運用の効率化」を大幅に改善</p> <p>2015年3月13日 VPP(Volume Purchase program)ライセンス一括購入に対応</p> <p>2015年3月13日 DEP(Device Enterprise program)MDM自動登録に対応</p> <p>2015年3月13日 Android 3.0/4.0追加項目(カメラ禁止、SDカード禁止)に対応</p> <p>2015年7月13日 Android 5.1対応</p> <p>2015年11月2日 Windows 10に対応</p> <p>2016年4月8日 デバイス単位にアプリケーションを配布する機能に対応+I47</p> <p>2016年4月8日 Apple Configuratorなしで設定を作成する機能を追加</p> <p>2016年6月1日 DEP利用端末の自動再登録に対応</p> <p>2016年7月15日 MDM管理外アプリをMDM管理配下とする機能に対応</p> <p>2016年10月28日 App Storeアプリの自動更新機能を追加</p> <p>2016年10月28日 iOSの管理者ロック機能に対応</p> <p>2017年3月10日 Windows10プロファイルの機能制限設定に対応</p> <p>2017年3月10日 Windows10 Mobileに対応</p> <p>2017年3月10日 iOSインハウスアプリのリソース履歴管理機能を追加</p> <p>2017年3月10日 Androidデバイスのオンデマンド位置情報取得/送信機能に対応</p> <p>2017年7月14日 Mac OSに対応</p> <p>2017年7月14日 組織ごとのオペレータ設定機能を追加</p> <p>2017年7月14日 ユーザ情報のインポート・エクスポート機能を追加</p> <p>2017年7月14日 大容量のブック/インハウスアプリ配信に対応</p> <p>2017年7月14日 iOSデバイスのオンデマンド位置情報取得/送信機能に対応</p> <p>2017年7月14日 異なるOS間でのデバイス交換機能を追加</p> <p>2017年9月29日 iOSアプリ管理にカタログ機能を追加</p> <p>2017年9月29日 Windows10デバイス情報の取得対象を大幅に拡張</p> <p>2017年11月24日 Apple Configurator 2.5で追加されたプロファイルの作成機能に対応</p> <p>2018年1月31日 Androidインハウスアプリのサイレントインストール/アップデートに対応</p> <p>2018年1月31日 Androidインハウスアプリのリソース履歴管理機能を追加</p> <p>2018年1月31日 組織ごとオペレータへの権限割当に対応</p> <p>2018年1月31日 CSVインポート/エクスポート/通知メールの時刻情報をタイムゾーンに対応</p> <p>2018年1月31日 組織・タグでのデバイス検索に対応</p> <p>2018年1月31日 デバイスから返されるリモートコマンドエラーのログ出力機能を追加</p> <p>2018年1月31日 有効期限が切れたMDMプロファイルの入れ替え機能に対応</p> <p>2018年1月31日 デバイス毎のiOSプロファイル管理項目にインストール日時を追加</p> <p>2018年1月31日 ログ・アラームの検索機能を追加</p> <p>2018年1月31日 iOSスケジュールOSアップデートに対応</p> <p>2018年1月31日 管理者ロック中のAndroid位置情報取得に対応</p> <p>2018年1月31日 SIMカードの交換検知機能を追加</p> <p>2018年2月22日 アラーム発生状況と管理者ロック中のデバイス管理機能をダッシュボードに追加</p> <p>2018年5月9日 デバイス再起動コマンドに対応</p> <p>2018年5月9日 リアルタイムでのAndroid SIMカード交換検知に対応</p> <p>2018年5月9日 管理状況の時系列表示機能をダッシュボードに追加</p> <p>2018年5月9日 Googleマップでの位置情報表示に対応</p> <p>2018年5月9日 iOSシングルAppモードプロファイル作成機能を追加</p> <p>2018年5月9日 Windows 10 IoT Coreデバイスに対応</p> <p>2018年5月9日 Windows 10 UWPアプリ配信に対応</p> <p>2018年5月9日 QRコードによるチェックイン機能を追加</p> <p>2018年7月11日 BizMobile Go! 機能強化</p> <p>2018年10月31日 BizMobile Go! 機能強化及び不具合修正</p> <p>2019年2月27日 BizMobile Go! 機能強化及び不具合修正</p> <p>2019年5月29日 BizMobile Go! 機能強化及び不具合修正</p> <p>2019年6月26日 BizMobile Go! 機能強化及び不具合修正</p> <p>2019年10月30日 BizMobile Go! 機能強化及び不具合修正</p> <p>2020年3月18日 BizMobile Go! 機能強化</p> <p>2020年4月22日 BizMobile Go! 機能強化及び不具合修正</p> <p>2021年12月15日 BizMobile Go! 脆弱性について影響なし報告</p> <p>2022年1月28日 BizMobile Go! 機能追加</p> <p>2022年4月27日 BizMobile Go! 機能追加</p>
29	サービスの基本タイプ	アプリケーションサービス、ネットワーク基盤サービス、ASP基盤サービス、その他サービスの4つの中から該当タイプを選択	必須	アプリケーションサービス
30	サービスの内容・範囲	申請したASP・SaaSのサービスの内容・特徴 <500字以内で記述>	必須	<p>仕事で使うデバイスを、遠隔から、簡単に、一元管理できるMDMクラウドサービスです。キッティング作業を劇的に軽減する世界初の『仮想デバイス同期機能』と『テンプレート機能』を実装し、IT管理者の負担である初期設定や設定変更、新機能追加時のキッティング作業、日々の運用監視作業を簡素化します。数万台を超える運用に耐える国内唯一のMDMとして、上場企業の7割に導入されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モバイルデバイスの主要なOS(iOS/Android/Windows/Mac)すべてに対応しています。 ・優れた8つの機能により、MDMとしての高品質機能、利用者の利便性、そして携帯端末管理にかかる経費を劇的に削減します。 ・一般的なMDMにはない、設定・配布自動化機能と双方向通信機能制御機能を持ち、端末の状況に応じた強制インストールや機能制御を実現しています。

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人日本クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (4/9)

認定番号: 0163-1208, サービス名称: BizMobile, 事業者名称: IoT-EX株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
		他の事業者との間でサービス連携を行っていることの有無と、ある場合はその内容 <前記述と合わせて500字以内で記述>		シムトップスの「i-Reporter」とJMASの「KAITOセキュアカメラ」は、カメラの一時的利用と写真をローカルに保存しないサービスを提供。 インターコム「MaLion」は、Appleデバイスの管理としてサービスを提供。 IoT-EXは、スマホとMDMを連携してIoTルータとし、従業員端末との距離を計算・記録することで、感染者からの連絡で濃厚接触者を簡単に特定できる「コロナトレーサー」を提供。
31	サービスのカスタマイズ範囲	アプリケーションのカスタマイズの範囲 (契約内容に依存する場合はその旨記述) <200字以内で記述>	必須	MDMの機能は多岐に渡り、毎年各OSのバージョンアップ時に大幅に追加・変更。削除されるため、カスタマイズに対応すると将来的な機能追加に対応できなくなります。そのため、MDMの全ての機能をAPI化し、他のアプリ(スマートフォンやタブレット、パソコン)やサービス(他のパッケージ製品やクラウドサービス)から、必要な時に、必要な機能だけを自由に利用できるようにすることで、カスタマイズの要望に柔軟に対応出来ています。
32	サービス(事業)変更・終了時の事前告知	利用者への告知時期(事前の告知時期を1ヶ月前、3ヶ月前、6ヶ月前、12ヶ月前等の単位で記述) 告知方法	必須○	パートナーに対して60日前までに通知 パートナーに対し、書面、電子メール、Webにて通知。
33	サービスの変更・終了	サービス(事業)変更・終了後の対応・代替措置	必須	無し 無し 無し
34	サービス(事業)変更・終了に係る問合せ先	問合せ先(通常の苦情等の問合せ窓口も含む)の有無と、問合せ先がある場合は名称・受付時間	必須○	有り パートナー向け窓口 ・メール: 24時間受け付け ・電話: 平日 10:00~19:00
35	課金方法	従量部分の課金方法 固定部分の課金方法	必須	サービスパートナー契約に基づき、毎月、所定の方法により認識した台数を算出し、契約書に定める単価を乗じた金額を請求する。 サービスパートナー契約に基づき、毎月、所定の金額を請求する。
36	サービス料金	料金体系	必須	初期費用額 月額利用額 最低利用契約期間 1年
37	解約時ペナルティ	解約時違約金(ユーザ側)の有無と、違約金がある場合はその額	必須	有り サービスパートナーは最低利用契約期間満了までの期間分
38	利用者からの解約事前受付期限	利用者からのサービス解約の受付期限の有無と、有りの場合はその期限(何日・何ヶ月前かを記述)	必須	有り 2ヶ月前(書面で通知)
39	サービス稼働設定値	サービス稼働率のこれまでの実績値、またはやむなき理由により実績値が記載できない場合はその理由と目標値 申請したサービスが該当する「情報セキュリティ対策ガイドライン」におけるサービス種別のパターン番号と稼働率の対策参照値 サービス停止の事故歴	必須	【2019/6/1 ~ 2020/5/31】稼働率実績値: 99.93% 【2021/6/1 ~ 2022/5/31】稼働率: 99.984% パターン3、95%以上 【2019/6/1 ~ 2020/5/31】 ・メンテナンス障害: 1件 【2021/6/1 ~ 2022/5/31】 障害件数: 3件 サービス停止を伴う障害: 3件

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人日本クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (5/9)

認定番号: 0163-1208, サービス名称: BizMobile, 事業者名称: IoT-EX株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
40	サービスパフォーマンスの管理	機器、ソフトウェア等のシステム障害によるサービス応答速度の低下等の検知方法 (検知の場所、検知のインターバル、画面の表示チェック等の検知方法)	選択	下記の監視項目のポーリングを行い、閾値を越えた場合には、指定されたアドレスにメールが送信されます。 【対象、インターバル、検出条件】 ・サーバ監視、1回/秒、タイムアウト1分 ・ロードアベレージ、30秒、8以上 ・CPU使用率、60秒、無し ・メモリ使用率、1秒、スワップサイズ200MB以上 ・ディスク使用状況、20秒、空き容量が20%未満
		サービス応答速度等のサービスパフォーマンスの正常性の把握方法 (検知の場所、検知のインターバル、画面の表示チェック等の把握方法)		下記の監視項目のポーリングを行い、閾値を越えた場合には、指定されたアドレスにメールが送信されます。 【対象、インターバル、検出条件】 ・Push通知状況、5分、ログ出力停止 ・Web監視、2分、タイムアウト
41	サービスパフォーマンスの増強	ネットワーク・機器等の増強判断基準あるいは計画の有無、判断基準や計画がある場合は増強の技術的措置(負荷分散対策、ネットワークルーティング、圧縮等)の概要	選択	Amazon社のAmazon Web Serviceを使う利点は、必要なリソースを、必要な時に、必要な分だけ追加できることです。一時的に、あるいは恒久的に増大する負荷に対応するために、コンピュータの処理能力を増大することが可能です。スクリプトを記述する事で、スケール処理を自動化できるので、開発環境、ステージング環境で動作確認した上で、速やかに本番環境のコンピュータの処理能力を増大させることができます。 運用しているサーバには Zabbix と Newrelic という2つの監視システムを導入しており、サーバリソースの逼迫などの事象が発生した場合に弊社へ通知が届く仕組みとなっています。 監視システムのデータとサーバへ登録されているデバイス数の増加を元にサーバの処理能力を増強させる判断を行います。 監視システムではロードアベレージ上昇の頻発、定期的なスワップの増加、空きメモリの枯渇などが確認された場合に検討を行います。また、過去の事例からサーバへ登録されているデバイス数を元に安定稼働が可能な処理能力へ増強を行う場合もあります。
42	認証取得・監査実施	プライバシーマーク、ISMS(JIS Q 27001など)、ITSMS(JIS Q 27001など)の取得、18号監査(米ではSAS70)の監査報告書作成の有無、上記がある場合は認証名あるいは監査の名称	選択	無し(取得していない)
43	個人情報の取扱い	個人情報を収集する際の利用目的の明示	必須	有り 収集時には必ず利用目的を明示しています。
44	脆弱性診断	診断の対象(アプリケーション、OS、ハードウェア等)	選択	AWSが推奨する脆弱性対応に準拠した構築を行うことにより独自の脆弱性診断は不要となっています。
		診断の頻度、診断の結果から対策が必要となった部分に対する対応状況(対象ごとに)		無し(不要となっている)
45	バックアップ対策	バックアップ実施インターバル	必須	日次バックアップ
		世代バックアップ(何世代前までかを記述)	必須	8世代を保管している。
46	バックアップ管理	バックアップ確認のインターバル	選択	1日1回確認
47	受賞・表彰歴	ASP・SaaSに関連する各種アワード等の受賞歴	選択	MCPC award 2017 の受賞 ASPIC IoTクラウドアワード2017 MCPC award 2017 の受賞 MCPC award2017 サービス部門優秀賞(4年連続受賞) ASPIC IoTクラウドアワード2017 IoTプラットフォーム部門グランプリ(4年連続受賞) MCPC award2018 サービス&ソリューション部門奨励賞 2019 Red Herring Top 100 Asia Winner MCPC award 2020 の受賞(IoT-EX) ASPIC IoTクラウドアワード2021
48	SLA(サービスレベル・アグリーメント)	本審査基準に含まれる開示項目がSLAとして契約書に添付されるか否か	必須	添付される。
49	サービス利用量	利用者数	選択	申請したASP・SaaSのサービスの利用者ライセンス数(同時接続ユーザ数か、実ユーザ数かも明示)
50	サービス利用量	代理店数	選択	申請したASP・SaaSのサービスの取扱い代理店数

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人日本クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (6/9)

認定番号: 0163-1208, サービス名称: BizMobile, 事業者名称: IoT-EX株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
- アプリケーション、プラットフォーム、サーバ・ストレージ等				
51	内容	主要ソフトウェアの名称	必須	BizMobile Go!
		主要ソフトウェアの概要 <200字以内で記述>	必須	仕事で使うデバイスを、遠隔から、簡単に、一元管理できるMDMクラウドサービスです。キッティング作業を劇的に軽減する世界初の『仮想デバイス同期機能』と『テンプレート機能』を実装し、IT管理者の負担である初期設定や設定変更、新機能追加時のキッティング作業、日々の運用監視作業を簡素化します。数万台を超える運用に耐える国内唯一のMDMとして、上場企業の7割に導入されています。
52		主要ソフトウェアの提供事業者	必須	BizMobile株式会社
53	連携・拡張性	他システム等との連携方法	選択	詳細はホームページに記載 (http://www.bizmobile.co.jp/bmg_01_04.php?id=section-10)
		標準的なAPI等を他システム等連携のために使用している場合、そのAPI等の名称		公表可(アプリ開発会社に利用するAPIのグループ化したSDKを公開)
54	セキュリティ	死活監視(ソフトウェア、機器)	必須○	下記の監視項目のポーリングを行い、閾値を越えた場合には、指定されたアドレスにメールが送信されます。 【対象、インターバル、検出条件】 ・サーバ監視、1回/秒、タイムアウト1分 ・Push通知状況、5分、ログ出力停止 ・Web監視、2分、タイムアウト
		障害時の利用者への通知時間		重度障害の場合、発生検知から1時間以内にメール通知
55		障害監視(ソフトウェア、機器)	必須	有り
56		時刻同期	必須	NTP
57		ウイルスチェック	必須○	有り (メール、ダウンロードファイル、外部提供/利用に係わるサーバ)パターンファイル更新間隔: 1日以内
58		記録(ログ等)	必須○	有り 利用者アクセスログ、システムログ等: 過去3ヶ月
59		セキュリティパッチ管理	必須○	ベンダからのセキュリティ情報提供を定期的に確認し、該当する場合は直ちにテストプロセスを経た上で適用する
- ネットワーク				
60		推奨回線	必須	インターネット回線
		ユーザ接続回線について、ASP・SaaS事業者が負う責任範囲	必須	インターネット回線のため、弊社の責任範囲外としている。
61		推奨帯域	必須	無し

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人日本クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (7/9)

認定番号: 0163-1208, サービス名称: BizMobile, 事業者名称: IoT-EX株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
62	回線 推奨端末	パソコン、携帯電話等の端末の種類、OS等	必須	デバイス設定管理者用PC ・Mac PC(推奨) ・Windows PC システム管理者用PC ・Mac PC(推奨) ・Windows PC 管理対象端末 ・iPhone iOS 5.0以上 ・iPad iOS 5.1以上 ・Android 5.0以上 ・Windows 8.1以上 ・tvOS tvOS 10.2以上 ・ macOS macOS Sierra以上
		利用するブラウザの種類	必須	・Windows PC (Chrome, FireFox, Microsoft Edge) ・Mac PC (Safari, Google Chrome, Firefox) ・Chromebook (Google Chrome) ・iPad (Safari)
63	セキュリティ	ファイアウォール設置等	必須○	有り
64		不正侵入検知	必須	有り
65		ネットワーク監視	選択	弊社の責任範囲外としている。
66		ID・パスワードの運用管理	必須○	有り
67		ユーザ認証	必須○	ID/パスワード、クライアント証明書によって利用者を認証する。
68		管理者認証	必須○	有り
69		なりすまし対策(事業者サイド)	必須	有り サーバ証明書による認証のほか、SSLでの接続を必須としている。
70		その他セキュリティ対策	選択	なし
- ハウジング(サーバ設置場所)				
71	施設建築物	建物形態	必須	専用建物
72		所在地	必須	日本(関東)
73		耐震・免震構造	耐震数値	必須
	免震構造や制震構造の有無		Amazon社のAmazon Web Serviceを利用しており、当該項目に関する情報が非公開のため、内容を特定することができない。	
74	非常用電源設備	無停電電源	必須	有り 電力供給時間はAmazon社のAmazon Web Serviceを利用しており、当該項目に関する情報が非公開のため、内容を特定することができない。
75		給電ルート	必須	有り 給電ルートはAmazon社のAmazon Web Serviceを利用しており、当該項目に関する情報が非公開のため、内容を特定することができない。
76		非常用電源	必須	有り 連続稼働時間はAmazon社のAmazon Web Serviceを利用しており、当該項目に関する情報が非公開のため、内容を特定することができない。

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人日本クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (8/9)

認定番号: 0163-1208, サービス名称: BizMobile, 事業者名称: IoT-EX株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
77	消火設備	サーバールーム内消火設備	必須	有り ガス系消火設備
78		火災感知・報知システム	必須	有り
79	避雷対策設備	直撃雷対策	必須	Amazon社のAmazon Web Serviceを利用しており、当該項目に関する情報が非公開のため、内容を特定することができない。
80		誘導雷対策	必須	Amazon社のAmazon Web Serviceを利用しており、当該項目に関する情報が非公開のため、内容を特定することができない。
81	空調設備	十分な空調設備	選択	空調設備有り 詳細はAmazon社のAmazon Web Serviceを利用しており、当該項目に関する情報が非公開のため、内容を特定することができない。
82	入退館管理等	入退室記録の有無と、 入退室記録がある場合はその保存期間	必須	有り 保存期間はAmazon社のAmazon Web Serviceを利用しており、当該項目に関する情報が非公開のため、内容を特定することができない。
		監視カメラの有無と、 カメラがある場合は監視カメラ稼働時間、監視カメラの監視範囲、映像の保存期間		有り 監視カメラ稼働時間、監視カメラの監視範囲、映像の保存期間はAmazon社のAmazon Web Serviceを利用しており、当該項目に関する情報が非公開のため、内容を特定することができない。
		個人認証システムの有無		有り 2要素認証を2回以上
83	媒体の保管	紙、磁気テープ、光メディア等の媒体の保管のための鍵付きキャビネットの有無	必須	Amazon社のAmazon Web Serviceを利用しており、当該項目に関する情報が非公開のため、内容を特定することができない。
		保管管理手順書の有無		Amazon社のAmazon Web Serviceを利用しており、当該項目に関する情報が非公開のため、内容を特定することができない。
84	セキュリティ	その他特筆すべきセキュリティ対策を記述 (破壊侵入防止対策、防犯監視対策等)	選択	BizMobileは、Amazon社のAmazon Web Service(AWS)を利用しているが、AWSは、下記の認証・認定を受けている。 CJIS CSA Cyber Essentials Plus DoD SRG Levels 2 and 4 FedRAMP SM . FERPA FIPS 140-2 FISMA and DIACAP GxP HIPAA IRAP ISO 9001 ISO 27001 ISO 27017 ISO 27018 ITAR MPAA MTCS Tier 3 Certification NIST PCI DSS Level 1 SOC1/SAE 3402 SOC 2 SOC 3
- サービスサポート				
85	連絡先	申請者の電話/FAX、Web、電子メール等の連絡先	必須○	ポータルサイト: https://mybizgo.bizmo.in/ 電話: 03-5207-9801 電子メール: support@bizmobile.co.jp
		代理店連絡先の有無と、ある場合は代理店名称、代理店の本店の所在地と連絡先		無し

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人日本クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (9/9)

認定番号: 0163-1208, サービス名称: BizMobile, 事業者名称: IoT-EX株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
86	営業日・時間	営業曜日、営業時間(受付時間)	必須	ポータルサイト、電子メールは24時間受付可。 電話は、平日10:00-19:00(緊急の場合に限る) ※土日、祝日、国民の休日および年末年始(12/30~1/4)を除く。
		メンテナンス実施時間		「BizMobileGo!運用・保守・サポートガイドライン」に準ずる。
87	サービス窓口(苦情受付)	サポート対応	選択	サービスサポートの稼働率の実績値(単位:%)
				実績値は管理していません。
				放棄率の実績値(単位:%)
				実績値は管理していません。
応答時間遵守率の実績値(単位:%)				
実績値は管理していません。				
基準時間完了率の実績値(単位:%)				
実績値は管理していません。				
88	サポート範囲・手段	サポート範囲	必須	・本ソフトウェアに関する機能、性能、仕様等に関する質問への回答 ・障害発生時の甲の作業(原因調査、影響範囲の調査など)への遠隔による協力
		サポート手段(電話、電子メールの返信等)		ポータルサイト、電話もしくは電子メール
89	サービス保証・継続	サービスダウンしない仕組み	必須	サービスが停止しない仕組み(冗長化、負荷分散等) コールドスタンバイによる冗長化
90	事故発生時の責任と補償範囲	ASP・SaaS事業者の事故責任の範囲と補償範囲が記述された文書の有無、有る場合はその文書名称	必須	有り BizMobileGo!サービスレベルアグリーメント BizMobileGo!運用・保守・サポートガイドライン
91	サービス通知・報告	メンテナンス等の一時的サービス停止時の事前告知	必須○	利用者への告知時期 (1カ月前、3カ月前、6カ月前、12カ月前等の単位で記述) ・バージョンアップ(不定期、サービス停止もしくはオペレーション変更を伴うケースでは既定に従い事前通知) ・不具合対応(事後通知) ・セキュリティメンテナンスウィンドウ(毎週日曜午前0:00-1:00) ・アプリケーションメンテナンスウィンドウ(毎週水曜午後7:00-0:00)
		告知方法		ポータルサイト 電子メール
		記述よりも短い告知時期での緊急メンテナンスの有無		有り 実施確定後1時間前までに通知
92	障害・災害発生時の通知	障害発生時通知の有無	必須○	有り
93	定期報告	利用者への定期報告の有無 (アプリケーション、サーバ、プラットフォーム、その他機器の監視結果、サービス稼働率、SLAの実施結果等)	必須	有り

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人日本クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。